



## ◆Topic◆ 進路決定は自分の問題 ～知らなかったら知る努力を・・・～

毎年卒業直前の3年生にアンケートを取っています。その中から気になる意見をピックアップしました。

問36 進路に関する内容について、どんな時期に、どんなことを教えてもらいたかったか？(自由記述)

回答意見(抜粋)

- ・2年次にセンターに関する知識が欲しかった。
- ・2年生のときに岐阜県内にどんな内容の大学があるか知りたかった。
- ・2年生でいろんな地域の大学について知りたかった。

これを読んでいる1,2年生のみなさんはこれらの意見についてどんなふうに思ったでしょうか？どれも簡単に調べることができるのではありませんか？2年生には、センター試験についてある程度の説明をしましたね。1年生も詳しくはないけれど概要を話しました。教室には分厚い「蛍雪時代」という冊子が3冊置いてあります。3冊とは「学部学科案内号」「全国大学内容案内号」「全国大学受験年鑑」というものです。中を見たことがある人はどれくらいいるでしょうか？これを読むと(詳細は無理ですが)幅広く大学のことを知ることができます。これ以外にもたくさんの情報誌を提供しています。

進路指導部として言いたいことは、ある程度**必要なことは1,2年生で説明をしている**し、説明できないとしてもそれを知るための**情報を提供している**ということです。今はインターネット普及のおかげで『〇〇大学』について調べようと思えば、入試の詳細、就職状況、教育カリキュラム、学部学科の内容、研究分野や先生の論文テーマ等ほとんどの概要を知ることができる時代です。**知ろうと思えば知ることができる**のです。しかしそれができていない。なぜでしょう？

人間はいくら耳で聞いても、目で見ても、関心を持っていないものは頭に入ってきません。おそらく上記アンケートに答えた3年生は2年生の時に大学や自分の進路にそれほど関心がなかったのだと思います。ある意味仕方ありません。でも進路情報は早く知ったからといって損をしません。進路決定は誰もが通過しなければならない通過点です。ですからこれを読んでいる全員が進学や就職、受験情報などを早く知るに越したことはないのです。「教えてくれなかった」と人のせいにするのではなく、**自分から情報を取るための動きをするべき**です。これからは必要な情報を自ら手を伸ばして取ることが求められるのです。その意識を持って高校生活を過ごして下さい。そしてその中で不明な点が出てきたら先生に相談しましょう。きっと多くの先生と一緒に調べてたり考えたりしてくれると思います。一緒に進路実現を達成しましょう。(文責：岡崎)

## 『3年の窓』

### 3年生になって、卒業して初めて実感すること

卒業していく3年生が必ず口にする言葉があります。それは何だと思いませんか？それは・・・、

「1,2年生でもっと勉強しておけば良かった！」です。

人は考える(欲深い)生き物ですから、何をしても終わる時にはたとえ良い結果に終わったとしても、あれこれ考え、後悔の言葉を述べるものです。「あの時あしてあげれば良かった！」と。さらに残念なことに、その後悔は決して途中では感じないというか、わからないものなのです。つまり、この言葉は3年生になって、卒業という節目を迎えないと実感できない言葉なのです。それでも、必ず3年生が言って卒業する言葉だと知れば、今、少しでも後悔を少なくする努力はできると思います。(難しいことかもしれませんが。)例えば、①部活動等忙しい1,2年では、とにかく授業に集中し、小テストや課題に真剣に取り組む。②早寝早起き励行、朝型昼型生活を送る。③今日すべきことは今日必ずするなど、これらの当たり前のことを実践していくことができれば、後悔は少なくなるはず。ただ、言うのは簡単で、頭では「当たり前のことだからいつでもできるぞ！」と思ってしまうのですが、いざ行動に移そうと思うとできないわけです。これがまた悲しい人の性(さが)なのですが、これを打破しないと…。1・2年生の人たちが、卒業する時はこの言葉を言わないように願っています。さあ、この自宅学習期間や春休みを充実させてください。(文責：松村)

## 『2年の窓』 いよいよ3年生

いよいよ3年生ですね。受験を一年前に控えて準備は少しずつ始めていると思います。今年1年間は1年生と比べてすごく早かったのではないのでしょうか。きっと来年はもっと早いはずです。

さて、マーク模試の結果も返ってきて結果はどうでしたか？初めてのドッキング評価も届き、その結果に一喜一憂していると思います。全体の結果として言えることは、多治見高校2年生の現段階の結果はとても厳しいのが現実です。5教科7・8科目があるセンター試験と個別試験の点数を確実に取るためには、着実な学力を必要としています。まだまだ足りていないということですね。

基礎・基本という意味で1年生、2年生の学習が定着していないのが主な原因として考えられます。一度学習した内容も復習しなければ少しずつ忘れていってしまうのが現状です。ドラマでの「下克上受験」で出てきたエビングハウスの忘却曲線の話が印象的です。人は誰しも1カ月たっしまえば8割ほどの記憶を忘れてしまうのです。

だからこそ春休みのような長期休暇でしっかりと復習に時間をかけられるかがとても大事です。人は忘れる生き物です。そのことを理解した上で復習を何度も重ね、着実な学力を身に付けて、希望の大学、進路を勝ち取ってほしいものです。

この長期休暇を有意義に過ごして、3年生の良いスタートを切れることを切に願っています。

(文責：渡邊完)

## 『1年の窓』 この3月、何を為すべきか？

高校最初の1年がまもなく終了します。何だかあっという間でしたね。勉強や部活等で充実した1年を過ごすことが出来たでしょうか。

さて、授業に続き、学年末考査も終わった今、君たちは何を為すべきでしょうか。やはり、必要になるのは国語・数学・英語を中心とした三教科の1年間の「総復習」になると思います。2年生になると理系では理科、文系では地歴・公民の学習が本格化して、今まで以上に勉強する量が増えるので、国・数・英でモレがあると今後ついていけなくなってしまう恐れがあります。だからこそ、この3月の「総復習」が大切になってくるのです。しかし、ただがむしゃらに学習したり、手当たり次第今までのノートをまとめ直しても時間がかかって大変です。まずは、今年実施された考査や模擬試験をしっかりと見直ししたり、教科の専門家である先生方に学習法を尋ねたりして、効率よく取り組みましょう。この3月から4月の始業式の間しっかりと学習した生徒と、そうでない生徒ではとても大きな差が開きます。

1年後に皆さんはもう受験生になっています。その時に決して後悔することがないように、今からしっかりと先を見据えて努力しましょう。為せば成る！

(文責：立田)

